



# 日本植物分類学会 ニュースレター

No. 59

Nov. 2015

## 今号のトピックス

12/19 (土) 大阪学院大学にて講演会が開催されます (2 ページ)

来年 3/5 ~ 3/8 開催の富山大会の詳細・申込情報が掲載されています  
(3 ページ)

2016 年度の会費納入は今年 12 月末が期限です (12 ページ)  
ご協力をよろしくお願い申し上げます

## 目 次

### お知らせ

2015 年度日本植物分類学会講演会のお知らせ .....	2
日本植物分類学会第 15 回大会 (富山大会) および 2016 年度総会のご案内 .....	3
日本分類学会連合第 15 回シンポジウムのお知らせ .....	9
2016 年度日本植物分類学会野外研修会のお知らせ .....	9
新着交換図書紹介 (2015 年 7 月 11 日 ~ 10 月 28 日) .....	10
植物研究会・同好会紹介	
「全農教・帰化植物友の会」 .....	10
会員消息 .....	12

## お知らせ

### 2015 年度日本植物分類学会講演会のお知らせ

講演会担当委員 岡崎 純子

2015 年度の日本植物分類学会講演会を次のとおり開催します。なお、会場は大阪学院大学の林一彦先生にお世話いただきます。今年の夏、日本植物分類学会およびその前身の植物分類地理学会を支えて下さった堀田満先生がお亡くなりになりました。幅広い視野をお持ちで、京都大学教養部（現在の総合人間学部）に在職のころには、所属学生のいない学部におられたにもかかわらず広く分類に関わる多くの院生・学生達に影響を与えてくれました。今年お願いした演者には堀田先生の研究室に出入りし、学んでこられて現在ご活躍の方が3名そろいました。そこで皆様に現在のご研究のお話をいただくだけでなく、この機会に堀田先生への哀悼の意を示し、伊藤元己さんには少し堀田先生の思い出もお話しいただき、さらにご自身のご研究についてもお話いただこうと思います。

【日時】2015年12月19日（土）午前10時～午後5時

【講演会場】大阪学院大学2号館地下1階2号教室（02-B1-02 教室）  
〒564-8511 大阪府吹田市岸部南2丁目36番1号（電話：06-6381-8434）

#### 【プログラム】

- 10:00-10:05 ご挨拶 角野 康郎（会長）
- 10:05-11:05 瀬戸口 浩彰 「地域社会と植物園と大学のネットワークで絶滅危惧種を守る試み」
- 11:15-12:15 長谷川 匡弘 「ママコナ属でみる花形態の多様化と種分化」  
（12:15-13:15 昼食）
- 13:15-14:25 伊藤 元己 「植物の生物多様性情報の収集と利用」
- 14:25-15:25 加藤 真 「昆虫における植物食の起源と多様な展開」
- 15:40-16:40 梅林 正芳 「『植物図』について」
- 16:45-16:50 ご挨拶 林 一彦

#### 【その他】

参加費としてお茶代(100円)を徴収いたします。また講演会終了後、大阪学院大学職員食堂(17号1階)で懇親会を行います。できれば事前に [okazaki@cc.osaka-kyoiku.ac.jp](mailto:okazaki@cc.osaka-kyoiku.ac.jp) に連絡頂けるとありがたいですが、当日申し込みも可能です。また学生割引もあります。

#### 【会場までのアクセス】

JR 東海道本線岸辺駅あるいは阪急京都線正雀駅から大阪学院大学までともに徒歩5分。  
[http://www.osaka-gu.ac.jp/p\\_student/index.html](http://www.osaka-gu.ac.jp/p_student/index.html) の「交通アクセス」と「キャンパスマップ」をご覧ください。

#### 【講演内容（執筆は各演者）】

「地域社会と植物園と大学のネットワークで絶滅危惧種を守る試み」

瀬戸口 浩彰（京都大学大学院人間・環境学研究科）

いま日本の至る所で起きている野生植物の減少。これを少しでも守り、次世代に引き継ぎ、出来れば本来の自生地で景観の一部に帰するまで戻したい。このようなことを願って、私は植物の域外保全を各地で進めてきました。大学と植物園が地域社会と連携することによって、植え手よし・地域よし・植物よしの「三方よし」が目指せると思っています。講演では、福井の高浜と舞鶴の境にある青葉山で、オオ

キンレイカの保護増殖を、小中学生や教師、地域住民、町役場、植物園と行ってきた記録を紹介したいと思います。

「ママコナ属でみる花形態の多様化と種分化」

長谷川 匡弘（大阪市立自然史博物館）

ママコナ属は日本では5種が知られている程度の小さいグループです。しかし、ママコナ、シコクママコナについてはこれまで数多くの変種・品種が記載されており、集団ごとの変異が非常に大きくなっています。特に紀伊半島南部、屋久島では、顕著に花形態の異なるシコクママコナに近縁と考えられるグループが知られており、ハナバチ以外の昆虫によって送受粉が行われていることが明らかになってきました。今回は、これらの局所的に分布する特異な集団における最近の研究成果について紹介します。

「植物の生物多様性情報の収集と利用」

伊藤 元己（東京大学大学院総合文化研究科）

どんな生物がいつ、どこにいたのか、そんな単純な情報でも、膨大なデータが集積すると、その中から色々なことが見えてきます。本講演では、位置情報の付加された生物分布情報が現在、どのように集められているか、どのくらい集まったか、そこから何がわかるのかなど、植物を中心として紹介します。また、堀田先生がこのような活動の草分け的存在であったことも併せて紹介します。

「昆虫における植物食の起源と多様な展開」

加藤 真（京都大学大学院人間・環境学研究科）

現在の地球における植物の著しい多様性を理解するためには、植物と昆虫との長い関係の歴史についての理解が欠かせません。昆虫における植物食の起源、食植性昆虫に対する植物の防衛、送粉者の起源、そして送粉共生がもたらした植物の著しい多様化などについて、堀田先生のもとで受けた薫陶を交えて、紹介します。

「『植物図』について」

梅林 正芳（金沢大学理工研究域自然システム学系）

科学的な植物の絵『植物図』と良く知られている『植物画（ボタニカルアート）』との違いを解説し、どのように植物を見て図を描いているのかいくつかの例で紹介いたします。そして、写真との違いを通して植物図の特性を明らかにし、どのような貢献ができるのか考察します。最後に、金沢で行っている植物図描画講座について紹介します。

## 日本植物分類学会第15回大会（富山大会）および2016年度総会のご案内

第15回大会会長 中田 政司

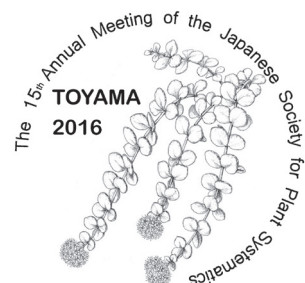
日本植物分類学会第15回大会および2016年度総会を、2016年3月5日から8日の日程で、富山大学で開催いたします。皆様のご参加を心からお待ちしております。

【本会場】富山大学五福キャンパス黒田講堂（富山市五福3190）

口頭発表・ポスター発表・総会・授賞式・授賞記念講演・  
公開シンポジウム

詳しいアクセスは下記リンクをご参照下さい。

<http://www.u-toyama.ac.jp/access/gofuku/index.html>



大会ロゴマーク  
(エッチュウミセバヤ)

[各種委員会会場] 富山大学五福キャンパス理学部会議室（富山市五福 3190）（編集委員会, 評議員会）

[日程] 2016年3月5日（土）～3月8日（火）

- |         |    |                                                                           |
|---------|----|---------------------------------------------------------------------------|
| 3月5日（土） | 午後 | 編集委員会・評議員会<br>富山県中央植物園の見学会（オプション*）<br>* 希望者にガイドツアーを行います。参加申込みの際にお申し込み下さい。 |
| 3月6日（日） | 午前 | 口頭発表（大会発表賞エントリー者）                                                         |
|         | 午後 | ポスターセッション（コアタイム）<br>公開シンポジウム：富山県のフロラに関する講演を予定しています。                       |
| 3月7日（月） | 午前 | 口頭発表（大会発表賞エントリー者）                                                         |
|         | 午後 | 口頭発表（一般）<br>総会・授賞式・記念講演                                                   |
|         | 夜  | 懇親会（場所：ホテルグランテラス富山 富山市桜橋通り 2-28）                                          |
| 3月8日（火） | 午前 | 口頭発表（一般）                                                                  |
|         | 午後 | 口頭発表（一般）                                                                  |
| 3月9日（水） | 午前 | 富山市科学博物館標本庫（TOYA）閲覧（オプション*）<br>* 希望者に標本閲覧を対応します。閲覧希望分類群を参加申込みの際にお申し込み下さい。 |

[第 15 回大会ホームページ]

大会準備の進捗状況やプログラムなど、情報を随時アップロードします。

[お問い合わせ先]

大会会長：中田政司

連絡先：日本植物分類学会第 15 回大会準備委員会

〒 939-2713 富山市婦中町上轡田 42 富山県中央植物園

Tel : 076-466-4187, Fax : 076-465-5923

E-mail : bunrui@bgty.org (大会専用)

(お問い合わせの場合には、できるだけ専用電子メールをお使い下さい)

[発表の要領]

●口頭発表

発表時間は、講演 12 分、質疑応答 3 分の計 15 分の予定です。口頭発表の際には液晶プロジェクターを使用しますが、発表用パソコンは各自でご用意下さい。Apple 製品等、特殊な接続ケーブルが必要な場合は、各自でご用意下さい。

パワーポイントのスライド作成にあたっては、色覚バリアフリープレゼンテーション法に関するサイト <http://www.nig.ac.jp/color> をぜひご一読下さい。

●ポスター

ポスター用ボードのサイズは、横 90cm×縦 180cm です。貼付け用テープ等は大会準備委員会で用意いたします。6 日 13 時までに貼付けを終えて下さい。会場の都合上、8 日 13 時までにポスターの撤去をお願いします。

[発表・参加申し込み方法]

大会には日本植物分類学会会員・非会員を問わずにご参加いただけますが、口頭およびポスターで実際に発表する方は、特に依頼した場合を除き会員に限ります。非会員の講演者は、申込みと同時に日本植物分類学会への入会手続きをお願いします。

第 15 回大会 HP (<http://www.bgty.org/bunruigakkai/15thbunruigakkai>) から発表・参加申込書へリ

ンクが張られていますので、用紙をダウンロードして必要事項を記入または選択の上、ファイル名を参加者本人の氏名として下さい。記入した発表・参加申込書は、件名を「学会申込」としたメールに添付して [sanka2016toya@bgty.org](mailto:sanka2016toya@bgty.org) 宛に送信して下さい。

送信してから3日経っても（土日・祝日を除く）大会準備委員会から受信の返事がない場合は、メールの件名を「学会申込み再送信（発表者氏名）」に変更した上で、同じメールを送信して下さい。電子メールを利用できない方は、本ニュースレター案内の8ページに記載されている「発表・参加申込書」に必要事項を記入の上、大会準備委員会宛に郵送でお送り下さい。その際には、締切日にご注意下さい。発表・参加申込みのファクスによる送付は受け付けません。

#### [大会発表賞へのエントリー]

大会発表賞（口頭発表賞またはポスター発表賞）にエントリーされる方は、発表・参加申込書「8. 口頭発表賞・ポスター発表賞へのエントリー」の項目で、「(1) する」を選択して下さい。なお、大会発表賞へのエントリー資格のある方は、日本植物分類学会の会員で、パーマメント・ポストに就いていない研究者（年齢制限はありません）で、筆頭発表者かつ演者である方本人です。

#### [発表要旨]

発表要旨の原稿を以下の書式で作成し、MS（マイクロソフト）Word 2007 (Windows) で読み可能な形式で保存して下さい。大会ホームページに雛型があります。

発表題目、1行空白、発表者氏名（かっこ内に所属）、1行空白、要旨本文の順に記入し、実際に発表する演者の右肩に「\*（半角）」を入れて下さい。1行の文字数は全角で41行、発表題目を含めて22行以内にして下さい。発表要旨に図表は使用できません。パソコンの機種に依存する特殊文字は、フォントの文字化けなどを起こすので使えません。原稿のファイル名は、発表代表者のフルネームとして下さい。原稿ファイルは、件名を「発表要旨（発表代表者氏名）」とした電子メールに添付して、[youshi2016toya@bgty.org](mailto:youshi2016toya@bgty.org)（メールアドレスが参加・発表申込みと異なりますのでご注意ください）宛に送信して下さい。あるいはファイルの入ったCD-Rを下記住所まで郵送して下さい。

送信してから3日経っても（土日・祝日を除く）大会準備委員会から受信の返事がない場合は、メールの件名を「発表要旨再送信（発表者代表者氏名）」と変更した上で、同じメールを送信して下さい。

なお、印刷の都合で体裁を変更する場合がありますのでご了承下さい。MS Word を使って要旨原稿ファイルを作成することが困難な発表者の方は、大会準備委員会までご連絡下さい。要旨の作成方法をご相談させていただきます。要旨のファクスによる送付は受け付けません。

#### [大会参加・発表申込の送付先・締切 担当 兼本 正]

送付先：〒939-2713 富山市婦中町上嚮田 42

富山県中央植物園 兼本 正

E-mail： [sanka2016toya@bgty.org](mailto:sanka2016toya@bgty.org)

発表者：発表・参加申込／大会・懇親会参加費、弁当代等振込 1月22日（金）必着

発表者以外：参加申込／大会・懇親会参加費、弁当代等振込 2月5日（金）必着

1月23日以降の振込は大会・懇親会参加費が増額されますので、なるべくお早めにお申し込み下さい。また、2月6日以降は振込まず、当日参加をご利用下さい。

#### [要旨原稿の送付先・締切 担当 兼本 正]

送付先：同上

E-mail： [youshi2016toya@bgty.org](mailto:youshi2016toya@bgty.org)（参加・発表申込先と異なります）

E-mail, CD-R 郵送共に 1月29日（金）必着。

## [参加費]

大会参加費（発表要旨集 1 冊代金を含む）：

1月22日までの振込	一般 4,000 円, 学生 2,000 円
1月23日以降の振込	一般 5,000 円, 学生 3,000 円
当日参加申込	一般 5,000 円, 学生 3,000 円
追加発表要旨集	1部 1,000 円

懇親会参加費：

1月22日までの振込	一般 6,000 円, 学生 4,000 円
1月23日以降の振込	一般 7,000 円, 学生 5,000 円
当日参加申込	一般 7,000 円, 学生 5,000 円
3月6日(日)昼食弁当	800 円

## [参加費送金先]

郵便振替口座番号：00740-3-41758

口座名義：日本植物分類学会第 15 回大会準備委員会

送金には同封（または郵便局備え付け）の振込用紙を使用し、必ず振込金額の内訳（大会参加費、懇親会参加費、弁当代等）を通信欄に記入して下さい。また、振込者と参加者は同一にして下さい。参加申込みの際に、振込の日付と振込郵便局名が必要になりますので、必ず参加申込み前に振込を終えて下さい。振込手数料は、ご自身でご負担下さい。

## ■大会参加の各締切

区分	項目	締切
発表する人 (演者)	参加費/懇親会/弁当代の振込 郵便振替 一般 4,000 円/ 6,000 円/ 800 円 学生 2,000 円/ 4,000 円/ 800 円	発表申込より前
	発表申込メール送信 sanka2016toya@bgty.com	1月22日(金)
	発表要旨送信・CD-R 送付 youshi2016toya@bgty.com	1月29日(金)
参加する人 (演者でない共同発表者を含む)	参加費/懇親会/弁当代の振込 1月22日以前 一般 4,000 円/ 6,000 円/ 800 円 学生 2,000 円/ 4,000 円/ 800 円 1月23日以降 一般 5,000 円/ 7,000 円/ 800 円 学生 3,000 円/ 5,000 円/ 800 円	参加申込より前
	参加申込メール送信 sanka2016toya@bgty.com	2月5日(金)
2月6日以降の申込 及び当日参加者	会場受付で参加申込・会費支払* 参加費/懇親会 一般 5,000 円/ 7,000 円 学生 3,000 円/ 5,000 円 * 振り込まないで下さい。 * 6日の昼食弁当は準備できません。	—

## [懇親会]

ホテルグランテラス富山（旧 名鉄とやまホテル、富山市桜橋通り 2-28）で行います。富山駅（南口）から南東に徒歩 7 分です。ホテル HP のアクセスガイドをご参照下さい (<http://breezbay-group.com/m-toyama/access/index.html>)。直接会場に向かわれる方で荷物のある方や女性を優先に、ホテルの

小型バスでピストン移送いたしますが、定員に限りがありますのでご了承下さい。ホテルのご厚意により、酒類の持ち込みが可能です。各地の日本酒等、皆様からの差し入れを歓迎いたします。

#### [宿泊施設]

宿泊に関しては各自でご予約下さい。富山駅南口周辺をお薦めします。富山駅（南口）から大会会場の富山大学までは、バス・市電で20分ほどです。北陸新幹線の開通後、宿が取りにくい状態になっていますので、予約はお早めをお願いいたします。なお、懇親会会場のホテルグランテラス富山でもリーズナブルな価格で宿泊が可能です。部屋数に限りがありますので、インターネットまたは電話(076-431-2211)でお早めにご予約下さい。

#### [託児について]

本大会では託児室の開設は行いません。

#### [昼食]

大会期間のうち7日(月)、8日(火)は大学生協食堂が営業しています(営業時間:平日8時~20時)。6日は日曜日で休みなため、お弁当を準備します。予約個数のみを用意しますので、参加申込み時にあわせてお申込み下さい。なお、大学周辺にはコンビニや、日曜日にも営業している飲食店があります。

#### [公開シンポジウム]

富山県のフロラに関する講演を数題予定しています。詳細は大会ホームページや次号ニュースレターでお知らせします。参加は無料です。

#### [オプション見学会]

・富山県中央植物園:学会参加者には植物園の無料招待券が1枚配布されます。会期中、自由にご観覧いただけますが、5日(土)の14時から希望者を対象にガイドツアーを行います。当日は「蘭まつり大会」が開催中で、バックヤードもごらんいただけます。ご希望の方は、参加申込み時にあわせてお申込み下さい。  
・富山市科学博物館標本庫(TOYA):9日(水)9時から観覧の時間を設けます。希望される方は、参加申込み時にあわせてお申し込み下さい。

#### [大会会場へのアクセス]

会場である富山大学五福キャンパスへの公共交通機関は以下の通りです。大学構内は駐車スペースがほとんどありませんので、公共交通機関をご利用下さい。

・JR富山駅から:

【バス】南口バスターミナル3番のりばから富山地鉄・路線バス「富山大学前経由」に乗車約20分→「富山大学前」バス停下車すぐ。

【市電】富山地鉄「富山駅」停留所にて2系統(大学前行)に乗車約15分→「大学前」停留所下車徒歩約5分。

【タクシー】約15分。

・富山きときと空港から:

【バス】富山大学に直接向かうバスはありません。JR富山駅へは空港バス(富山地鉄)が運行しています。乗車約25分。

【タクシー】大学まで約20分。

・北陸自動車道ICから:「富山西IC」から約10分、「富山IC」から約20分ですが、五福キャンパス内の外来専用駐車場が手狭のため、自家用車でのご来場はご遠慮ください。

## 日本植物分類学会第 15 回大会「発表・参加申込書」

必要事項を記入または選択の上、ファイル名を申込者氏名にして  
sanka2016toya@bgtyim.org 宛に送付。発表の申込締切りは 1 月 22 日です。

1. 名前 (ふりがな, またはローマ字) :
2. 所属 :
3. 所属の短縮表記 :
4. 連絡先住所 : 〒
5. Tel & Fax:
6. E-mail アドレス :
7. 研究発表  
する : (1) 口頭発表 (2) ポスター発表 (3) どちらでも良い  
しない : (3) 発表しない (4) 共同研究者が発表する (発表者氏名 : )
8. 口頭発表賞・ポスター発表賞へのエントリー : (1) する (2) しない
9. 発表タイトル :
10. 全発表者氏名・所属 (演者の右肩に \* 印) :
11. 全発表者氏名のローマ字表記 :
12. 現在求職中の表示の希望 : (1) 希望する (2) 希望しない
13. 大会参加費 (振込期日に注意すること) :                    円  
    1 月 22 日までに振込の場合                    一般 4,000 円, 学生 2,000 円  
    1 月 23 日以降振込と当日申込の場合        一般 5,000 円, 学生 3,000 円
14. 懇親会 : (1) 参加する (2) 参加しない
15. 懇親会費 (振込期日に注意すること) :                    円  
    1 月 22 日までに振込の場合                    一般 6,000 円, 学生 4,000 円  
    1 月 23 日以降振込と当日申込の場合        一般 7,000 円, 学生 5,000 円
16. 3 月 6 日 (日) 昼食弁当 (800 円) :                    円
17. 13, 15, 16 の合計金額 :                    円
18. 振込郵便局名 :
19. 振込日 :            月            日  
    郵便振替口座番号 : 00740-3-41758  
    口座名義 : 日本植物分類学会第 15 回大会準備委員会
20. 富山県中央植物園の見学 : (1) 参加する (2) 参加しない
21. 富山市科学博物館標本庫 (TOYA) の標本閲覧 :  
    (1) 希望する (希望分類群 :                    )  
    (2) 希望しない
22. コンベンション開催事業助成に関する聞き取り (ご協力をお願いします) :  
    ・ ご住所のある都道府県名 (                    )  
    ・ 大会会期中の宿泊予定 (○をつけて下さい) : 5 日・6 日・7 日・8 日



[コンベンション開催事業助成に関するお願い]

大会開催費の援助を受けるため、富山市コンベンション開催事業補助金を申請しています。富山県以外の方は、ご住所のある都道府県名および大会会期（3月5日～8日）中の富山県内での宿泊予定数を申込み時にお知らせ下さい。また、氏名と都道府県名、および宿泊日数を富山市役所商工労働部観光振興課に報告することをご了承下さい。

## 日本分類学会連合第 15 回シンポジウムのお知らせ

日本分類学会連合担当委員 黒沢 高秀

今年度の日本分類学会連合シンポジウムは、多くの会員も関わっている東南アジアの生物多様性がテーマです。ふるってご参加下さい。詳しい内容は、今後連合のホームページ (<http://www.ujssb.org/>) に掲載される予定です。

(以下、連合からのお知らせの転載です)

日本分類学会連合第 15 回公開シンポジウム

「東南アジアにおける生物多様性研究最前線 ～現在、そして未来～」

主催：日本分類学会連合

共催：国立科学博物館

日時：2016 年 1 月 9 日（土）13:15 ～ 17:30

場所：国立科学博物館大講堂（上野）

趣旨：

東南アジアは、地球上で最も生物多様性が高い地域であると考えられていますが、欧米から距離的に遠く、生物多様性の科学的解明が十分に進んでいない地域でもあります。現在、東南アジア各国は急速な経済発展を遂げて無秩序に開発が進みつつあり、野生生物の保全を急がないと、この地域の生物多様性が解明される前に多くの野生生物が絶滅してしまうことが危惧されています。一方で、分類学分野の日本人研究者の中には、東南アジア各国の研究者と力を合わせて、その生物多様性の解明に多大な貢献をしてきた人が大勢います。ABS 問題などもあって、今後、海外での野生生物の調査・研究が実施しにくくなる恐れがあることは、一昨年の日本分類学会連合主催のシンポジウムでとりあげました。逆に、このような時期だからこそ、日本人分類学者の調査・研究が東南アジア地域の生物多様性の科学的解明に不可欠であることを広く社会にも訴えたいと考えました。そこで今回は、東南アジア地域の生物多様性の調査・研究を活発に進めてこられた方々に、研究成果、キャパシティビルディングの成果や課題などについて発表していただき、今後どのような方向に共同研究を推進していけばよいのか、参加者が一体となって知恵をしぼるシンポジウムを企画した次第です。

## 2016 年度日本植物分類学会野外研修会のお知らせ

野外研修担当委員 西野 貴子

本学会の前身から引き継ぎ、1933 年からの記録がある野外研修会ですが、いよいよ本州最大の離島、佐渡島に初上陸です。新潟大学の崎尾均先生はじめ、同大学佐渡演習林のスタッフの方々にお世話いただき、2016 年 5 月 20 日（金）から 22 日（日）の催行が決定しました。

二年連続で日本海の離島での研修会ですが、1000m 級の山もあり、今年度の火山性の隠岐島とは様相が異なります。日本固有で、学会のシンボルマークである一科一属一種のシラネアオイや、トビシマカ

ソゾウの群生にも出会える時期で、佐渡は花に溢れています。どうぞ来年のスケジュールを確保いただき、次号のニュースレターでお知らせする詳細をお楽しみに！

2016年5月に花の島・佐渡でお会いしましょう！

## 新着交換図書紹介 (2015年7月11日～10月28日)

図書幹事 高野 温子

Plant Diversity and Resources 37(3)  
Cryptogamie 36(2), 36(3)  
Bulletin mensuel de la Société Linnéenne de Lyon 84(7-8)  
The Gardens' Bulletin Singapore 67(1)  
Novon 23(4)  
Blumea 59(2), 59(3)  
Korean Journal of Plant Taxonomy 44(4)  
Gardenwise 44, 45  
Willdenowia 45(2)  
The Bulletin of the National Tropical Botanical Garden 32 (1-2)  
Plant Diversity and Resources 37(4)  
Journal of Tropical and Subtropical Botany 23(4)  
Annals of the Missouri Botanical Garden 100(4), 101(1)  
Conservatoire et Jardin Botaniques de la ville de Genève Rapport 2014  
Journal of Plant Research 128(2), 128(5)  
The Journal of Japanese Botany 90(2), 90(4), 90(5)  
Flora Kanagawa 79  
奈良植物研究 34  
Bulletin of the National Museum of Nature and Science, series B (Botany) 41(2)  
Newsletter of Himalayan Botany 49

学会員の方は、兵庫県立人と自然の博物館（兵庫県三田市弥生が丘6丁目 アクセス方法は <http://www.hitohaku.jp> をご覧ください）にて閲覧可能です。閲覧希望の方は、図書幹事にお問い合わせください。文献複写依頼はお受けできませんので、予めご了承ください。

## 植物研究会・同好会紹介

### 「全農教・帰化植物友の会」

元村 廣司（全農教・帰化植物友の会事務局）

全農教・帰化植物友の会（以下、友の会と略称）は『日本帰化植物写真図鑑』第1巻（正式な書名には“第1巻”は付かず、第2巻と区別するために付す）が2001年7月に出版されたのを受けて2002年4月に発足しました。ほぼ同時期に友の会とは別に「帰化植物メーリングリスト」がスタートしましたが、こちらのほうは本ニュースレター No.56 (Feb. 2015) にくわしく紹介されています。

『日本帰化植物写真図鑑』第1巻が発行された2001年当時は、世界の農産物市場の急速な自由化に

伴い、輸入家畜飼料に混入した雑草種子に由来する発生が大きな問題となっていたこともあって、第1巻はそのジャンルの専門家によって著されました。しかし、帰化植物問題の拡大と、花きのエスケープなど新たな侵入ルートを考えると在野の植物研究者や愛好家の方々のご協力を仰ぎ、より多くの「目」で観察する必要を感じたことを機に、友の会と帰化植物メーリングリストが誕生しました。

発足時の友の会会則に、次のような活動指針があげられています。

帰化植物に関する情報の交換

- イ) 地域における帰化植物の発生状況
- ロ) 帰化植物の生物的特性に関する情報
- ハ) 名前、利用、害など植物文化的情報
- ニ) 他の情報源の紹介
- ホ) 帰化植物の同定に関する質問

事務局はこれらの情報を基に『日本帰化植物友の会通信』(不定期)を発行し、会員各位にお届けしています。

こうして第1巻発行後、友の会およびメーリングリストに集積された情報をベースにして2010年に『日本帰化植物写真図鑑第2巻』が発刊され、2015年10月にはさらに新しい知見を盛り込んだ『増補改訂日本帰化植物写真図鑑第2巻』が発刊されました。編著者陣も第1巻の清水矩宏・森田弘彦・廣田伸七の3氏に加えて、第2巻以降は、植村修二・勝山輝男・水田光雄・池原直樹氏にご参加いただき、より幅広く帰化植物を扱っています。友の会会員諸氏のご協力の大きさを表す数字があります。最新の『増補改訂日本帰化植物写真図鑑第2巻』を例にとると、本書の各論部に掲載された1,319点の写真のうちおよそ400点が友の会会員の方からご提供されたもので、全体の30%に当たります。

会員数は2003年に約1,100名であったのが、2015年現在では約2,300名になっています。会費につきましては、事務局の全農教(全国農村教育協会)が本会活動をCSRの一環と位置付けていることもあって、発足以来無料です。入会はいつでも受け付けています。広く植物に興味をお持ちの方々のご参加をお待ちしております。

入会方法

お名前、ご住所、電話、FAX、(あれば)メールアドレス、生年月日をご明記のうえ、下記事務局あてに郵送、FAX、メールでお申込みください。

全農教・日本帰化植物友の会事務局  
〒110-0016 東京都台東区台東1-26-6 全国農村教育協会内  
TEL 03-3839-9160 FAX 03-3833-1665  
e-mail : kika@zennokyo.co.jp



発行している友の会通信

植物研究会・同好会紹介の記事を募集します

植物多様性研究を支える現場の活性化につながればと2年前よりはじまった本記事ですが、これまでさまざまな研究会や同好会(すげの会、日本植物友の会、日本変形菌研究会、樹形研究会、水草研究会、日本シダの会、帰化植物メーリングリスト、ラン懇話会、近畿植物同好会、全農協・帰化植物友の会)を紹介してきました。紹介したい(あるいはしてほしい)研究会や同好会がございましたらニュースレター幹事までお知らせください。今後も活発に活動されている研究会・同好会を紹介していきたいと思っています。ご協力よろしく願いいたします。ニュースレター担当幹事 堤千絵 (tsutsumi@kahaku.go.jp)

